



柳川自校だより

令和 4 年

6 月 号

〒 839-0242

柳川市大和町豊原1 0 0

TEL 0944-72-5371

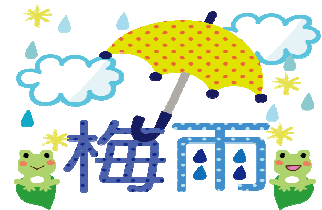
柳川自動車学校

FAX 0944-72-5373

6月になり、まもなく梅雨いりとなり、ジメジメとした日が多くなり
気分的にも塞ぎがちになりますよね(;-;)

ドライバーにとっては、雨の中を走行する機会が多くなり、
いつもよりも慎重な運転が必要な時期でもあります。

今日は、雨天時の安全走行ポイントを紹介します!



雨天時の安全走行ポイント!!

★ 速度を落とし車間距離をいつもより長くとる

雨天時にスピードを出すのは大変危険です。

視界も悪くブレーキのタイミングが遅れることもあるうえ、雨天時の
ブレーキは効きづらく制動距離が長くなります(止まりにくい)。

雨が降り始めたら、速度を落とし車間距離をいつもより長くとりましょう。

※ 雨の日は、いつもより最低2割はスピードを抑え、急発進・急加速・急ブレーキ・
急ハンドルなどしないように心がけましょう。



★ 左折時や進路変更時は、確実に側方や後方の確認をする

雨天時は、フロントガラスやドアミラーに水滴が付着して、前方や後方の視界が
悪くなります。

特にドアミラーが見えにくくなり、車体の小さい二輪車や自転車を見落としやす
くなります。

左折時や進路変更時は、ドアミラーだけでなく、振り向いて後方を確認するなど
して後続車を見落とさないようにしましょう。

また、スピードを抑え、ゆっくりと車線を変更しましょう。

★ 歩行者の動きに注意する

雨天時は、傘をさした歩行者の視界も悪くなり、車の有無を十分に
確認しないまま道路を横断してくることがあります。

水溜まりが気になり下を向いて進んだり、雨が差し込む方向に傘を向ける
ことに注意が向いてしまい、車両に気づかないことがあります、危険性が高くなります。

また、傘を持たない歩行者が急に道路を横断するなど、危険な行動を
とることがありますので十分注意しましょう。

※ 歩行者に自分が運転する車の存在を知らせ、速度を落として
「歩行者が道路を横断するかもしれない」と予測し、歩行者
の動きに十分に注意して走行しましょう。

